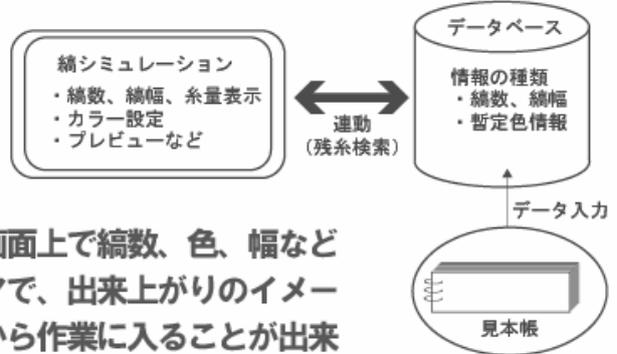


平成17年度よりスタートした「結城紬における縞織物設計ツールの研究」では、縞割設計を効率よく行うために、下記3点について事業を進めています。

- (1) 縞割設計ツール作成
- (2) 縞割データベース構築
- (3) 縞割見本帳作成



(1)の「縞割設計ツール」は、パソコン画面上で縞数、色、幅など簡単に縞割を作ることができるソフトウェアで、出来上がりのイメージを事前にシミュレーションし、確認してから作業に入ることが出来ます。

全体システムイメージ

また(2)の「縞割データベース」と連動させることで、残糸を用いて縞を作る場合、残糸量から作成出来る縞割を検索することが出来るので設計が簡便に行えます。

各機能からのフロー



4つの機能。

新しく縞割を編集する

縞の数や色、幅等を設定して、縞割をシミュレーションします。設定した縞割による織り上がりのイメージ、必要な糸量などをプレビュー画面で確認することができます。

残糸から縞割を作る

余った糸を有効に活用できる縞割をデータベースより検索します。色の変更も可能です。設定した縞割による織り上がりのイメージ、必要な糸量などをプレビュー画面で確認することができます。

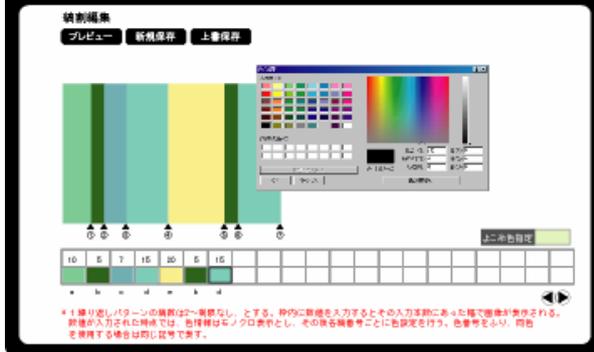
見本帳No.から検索する

見本帳No.を入力して、色の変更が出来ます。設定した縞割による織り上がりのイメージ、必要な糸量などをプレビュー画面で確認することができます。

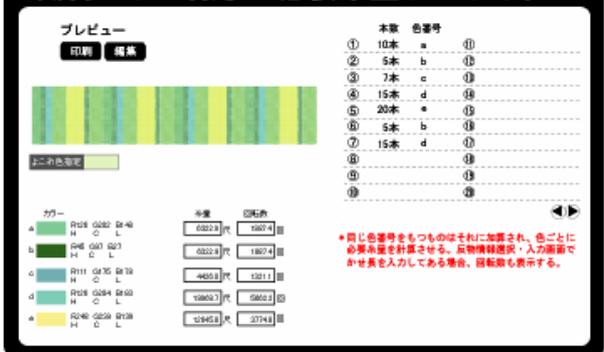
保存した縞割を見る

過去に作った保存した縞割の一覧を表示します。必要な縞割を閲覧、印刷、再編集することができます。

縞数、色、幅をシミュレーションする。



織物にした様子と必要糸量がわかる。



基礎となった事業 平成18年度 試験研究指導費(標準)

担当部門 繊維工業指導所 紬技術部門 主任 本庄恵美 tel : 0296-33-4154